

県内観光地域別 令和3年の主な増減要因

- **横浜・川崎地域**では、横浜市で、主要観光施設への来訪者の増加や、「ヨルノヨ」等イベントへの参加者の増加により、411 万人増加しました。一方、川崎市では、初詣客の減少や「川崎競馬場」等施設の一時休業による来訪者の減少などにより、234 万人減少しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 177 万人増加しました。
- **三浦半島地域**では、横須賀市で、「ヴェルニー公園」や「ソレイユの丘」等への来訪者の増加などにより、86 万人増加しました。また、逗子市では、海水浴場の開設などにより、13 万人増加しました。三浦市では、「三崎」や「油壺」への来訪者の増加などにより、19 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 125 万人増加しました。
- **湘南地域**では、平塚市で、「湘南平」や「平塚市総合公園」等屋外施設への来訪者増加などにより、89 万人増加しました。また、藤沢市では、江の島島内を中心としたイベントの実施や「湘南海岸・江の島」への来訪者の増加などにより、180 万人増加しました。大磯町では、「大磯海岸」や「大磯ロングビーチ」等への来訪者の増加などにより、19 万人増加しました。一方、鎌倉市では、初詣時期の観光客減少などにより、81 万人減少しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 213 万人増加しました。
- **箱根・湯河原地域**では、小田原市で、「小田原城址公園」等への来訪者の増加や、「ミナカ小田原」及び「小田原市観光交流センター」の新規開設などにより、159 万人増加しました。また、箱根町では、ワクチン接種の広まりなどにより、旅行需要が徐々に回復したことなどから、93 万人増加しました。真鶴町では、磯遊びや釣り客等の増加などにより、29 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 281 万人増加しました。
- **丹沢・大山地域**では、秦野市で、「弘法山」や「丹沢表尾根 大倉」等観光地点での来訪者増加などにより、28 万人増加しました。また、清川村では、「宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい」の開催や、「宮ヶ瀬」等への来訪者の増加などにより、75 万人増加しました。一方、松田町では、「桜まつり」等のイベントの中止などにより、11 万人減少しました。愛川町では、河川敷閉鎖によるキャンプ客減少などにより、25 万人減少しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 74 万人増加しました。
- **相模湖・相模川流域**では、相模原市で、「相模原麻溝公園」や「県立相模原公園」等への来訪者の増加などにより、5万人増加しました。また、大和市では、新型コロナウイルスの影響で一部休業していた「自然観察センター・しらかしのいえ」等施設が通年で開所したことによる来訪者の増加などにより、4万人増加しました。一方、海老名市では、「ふれあい農業まつり」等のイベント中止などにより、2万人減少しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は7万人増加しました。